



コバトン

病害虫防除情報



令和5年5月15日
埼玉県病害虫防除所

1 情報名 ナスのオオタバコガについて

2 情報内容

県内のオオタバコガのフェロモントラップへの誘殺数が、全調査地点で平年より多い状態が続いています。5月第1半旬時点で、全地点の平均誘殺数は平年の約6倍となり、多いところでは平年の約30倍となりました。

本虫は野菜、花きを中心として50種類近い作物を加害します。幼虫は卵からふ化すると直ちに、植物の内部へ食入するため、商品価値がなくなります。

向こう1か月の気象予報では、気温が平年並か高い見込みであることから、今後本虫の活動がさらに活発になると予想されます。

被害が拡大する前に、対策のポイントを参考に、状況に応じた防除を実施しましょう。

(1) 生態と被害

幼虫は卵からふ化すると直ちに、植物の内部へ食入します。ナスなど果菜類では果実に潜り込み、内部を加害するため、農作物としては経済的に大きな被害となります。本県では主に9～10月に食害が発生しますが、オオタバコガは1年で3～6回発生し、世代を増すごとにその発生量も増加するため、発生初期における防除が極めて重要です。

(2) 気象要因

4月の平均気温は平年よりかなり高く(+1.9℃、熊谷)、5月11日に気象庁が発表した季節予報によれば、関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は、平年並か平年より高い確率が各40%、降水量はほぼ平年並の見込みです。



写真1 オオタバコガの老齢幼虫



写真2 オオタバコガ幼虫によるナス果実の食害

(参考) 最新の誘殺数の推移は「フェロモントラップ等調査データ」(埼玉県 HP) を参照ください。
<https://www.pref.saitama.lg.jp/b0916/bojo/pheromonetrap.html>

(3) 対策のポイント

- ア 新しい食害痕や虫糞を見つけたら、その周辺に幼虫がいる可能性が高いため注意深く観察し、見つけ次第捕殺します。
- イ 摘芯した脇芽などには卵や若齢幼虫が見られるので、株元などに放置せず、ほ場外で処分します。
- ウ 幼虫が作物内に食入してしまうと薬剤散布の効果が低下するため、被害を確認したら直ちに防除を行ってください。
- エ 老齢幼虫に対しては薬剤の効果が低下するため、薬剤散布は若齢幼虫のうちに実施しましょう。
- オ 施設栽培では、開口部に寒冷紗等（5mm目程度の防虫ネット）を張って、成虫の侵入を防ぎましょう。

表 ナスにおけるオオタバコガの防除薬剤例（使用基準は令和5年5月11日現在）

薬剤名	IRACコード	使用時期	使用回数
ヨーバルフロアブル	28	灌注：育苗期後半～定植当日 散布：収穫前日まで	4回以内 (灌注は1回以内、 散布は3回以内)
スピノエース顆粒水和剤	5	収穫前日まで	2回以内
アフーム乳剤	6	収穫前日まで	2回以内
マッチ乳剤	15	収穫前日まで	4回以内
プレオフロアブル	UN	収穫前日まで	4回以内
エスマルク DF [※]	11(A)	発生初期但し、収穫前日まで	—

※作物名「野菜類」として登録

3 IRACコードについて

病害虫の薬剤抵抗性発現防止の観点から、IRAC（世界農薬工業連盟殺虫剤抵抗性対策委員会）の農薬有効成分作用機構分類コードを記載しています。

◎農薬工業会ホームページ <http://www.jcpa.or.jp/lab0/mechanism.html>

<農薬使用上の注意事項>

- 1 農薬は、必ず最新のデータ及びラベル等を確認の上、使用する。
- 2 剤の使用回数、成分毎の総使用回数、使用量及び希釈倍数は使用の都度、確認する。特に、蚕や魚に対して影響の強い農薬など、使用上注意を要する薬剤を用いる場合は、周辺への危被害防止対策に万全を期すること。
- 3 農薬の選定に当たっては、系統の異なる薬剤を交互に散布する。
- 4 農薬を散布するときは、農薬が周辺に飛散しないよう注意する。
- 5 周辺の住民に配慮し、農薬使用の前に周知徹底する。

※ 埼玉県農薬危害防止運動実施中（令和5年5月1日～8月31日）

問い合わせ先 埼玉県病害虫防除所 TEL：048-539-0661